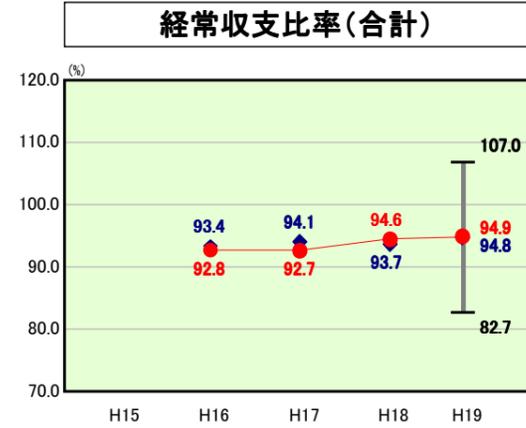


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

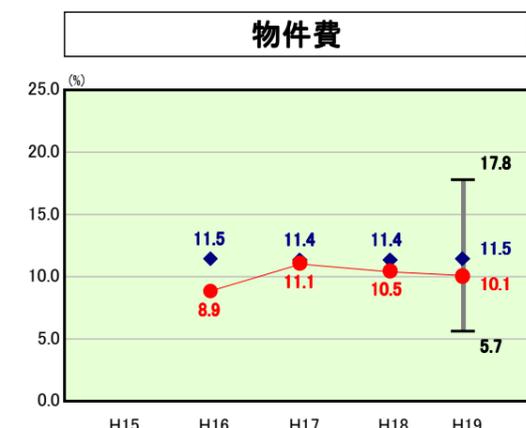
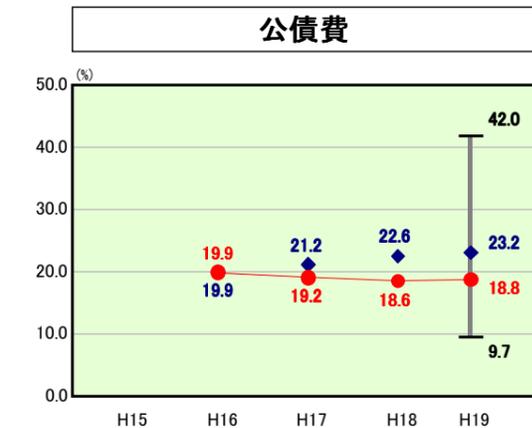
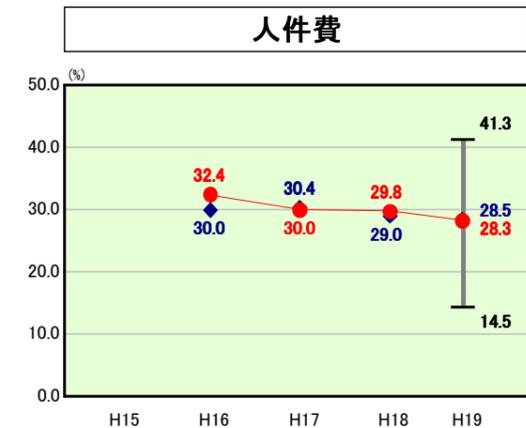
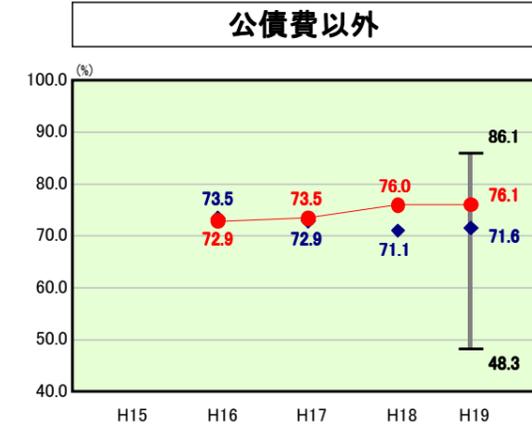
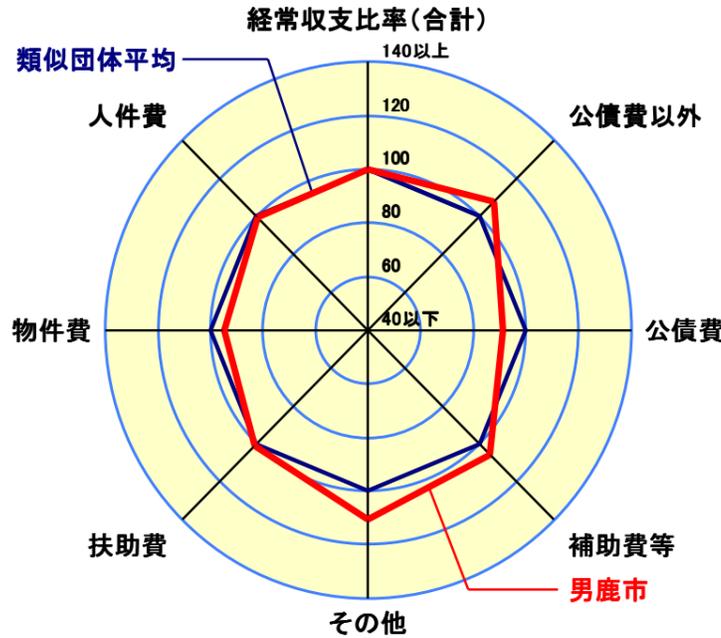
秋田県 男鹿市

経常収支比率の分析

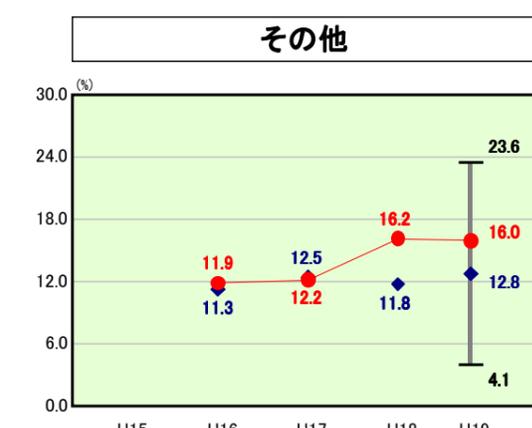
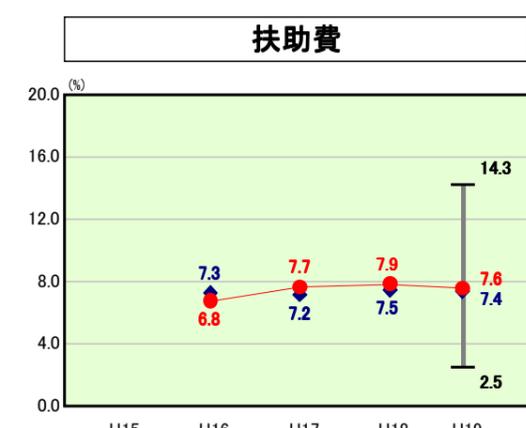
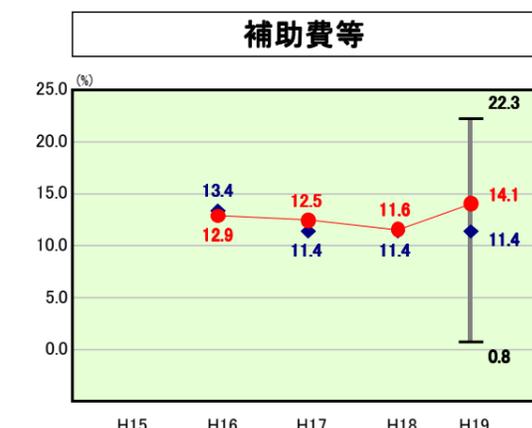


当該団体値 ●
 類似団体内平均値 ◆
 類似団体内最大値 ▮
 類似団体内最小値 ▾

人口	34,410人(H20.3.31現在)
面積	240.80 km ²
歳入総額	16,050,454千円
歳出総額	15,766,689千円
実質収支	250,953千円



※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
 ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
 ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



分析欄

人件費 : 前年度より1.5ポイント改善されたことで、類似団体の平均より0.2ポイント下回っている。今後も、行政改革大綱に基づき、退職者の一部不補充による人件費の抑制に努める。

物件費 : 前年度より0.4ポイント改善されたことで、類似団体の平均より1.4ポイント下回っている。今後も、行政改革大綱に基づき、事務事業の見直し、経常経費の節減に努める。

公債費 : 前年度より0.2ポイント上昇しているが、類似団体の平均より4.4ポイント下回っている。今後も、行政改革大綱に基づき、投資的事業に係る市債の単年度発行額を12億円以内に抑え、後年度負担の軽減に努める。

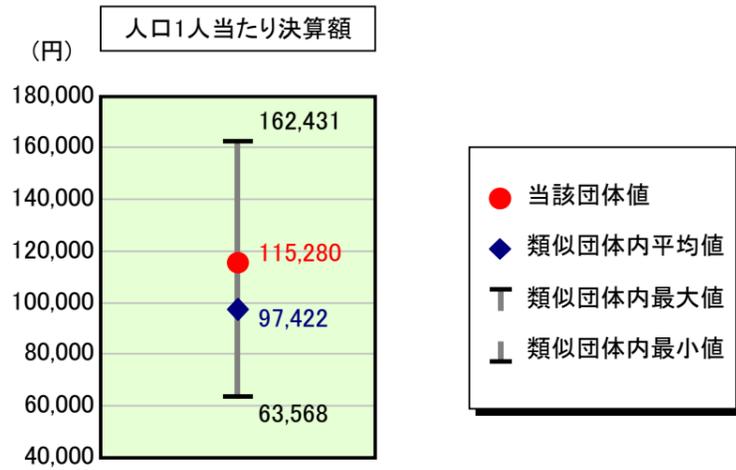
補助費等 : 前年度より2.5ポイント上昇し、類似団体の平均より2.7ポイント上回っている。上昇した要因としては、繰出基準に基づき算出される経常的経費のうち、男鹿みなど市民病院事業会計負担金に係る算出方法の見直しによるもののほか、後期高齢者医療広域連合への負担金の増額などによる。今後も、行政改革大綱に基づき、徹底した事務事業の見直しに努める。

その他 : 前年度より0.2ポイント改善されたが、類似団体の平均より3.2ポイント上回っている。上回っている要因としては、下水道事業会計などの特別会計への繰出金の比率が、類似団体の平均を大きく上回っているためである。今後も、公営企業会計においては、適正な料金収入の確保とともに、徹底した経営の改善と効率化に努める。

歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

秋田県 男鹿市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

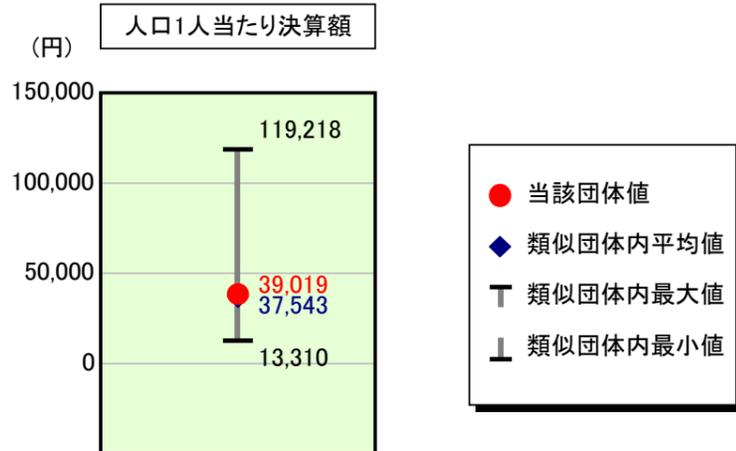
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
人件費	3,154,660	91,679	89,029	3.0
賃金(物件費)	108,890	3,164	4,561	▲ 30.6
一部事務組合負担金(補助費等)	776,151	22,556	9,909	127.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	60,578	1,760	465	278.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	172,254	5,006	3,488	43.5
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	47,531	1,381	1,823	▲ 24.2
▲退職金	▲ 353,285	▲ 10,267	▲ 11,853	▲ 13.4
合計	3,966,779	115,280	97,422	18.3

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	10.75	9.75	1.00
ラスパイレス指数	90.9	95.6	▲ 4.7

ラスパイレス指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである(以降の項目について同じ。)。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目を「-」としている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

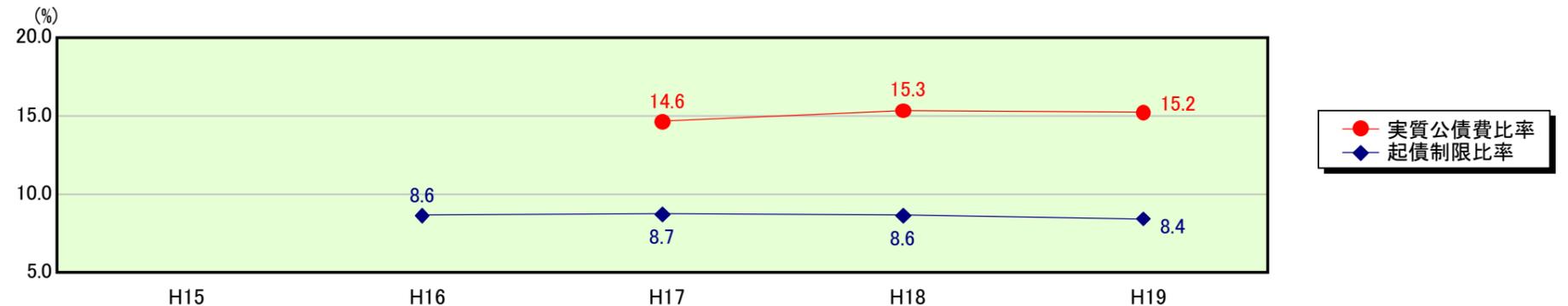


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	1,953,907	56,783	60,275	▲ 5.8
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	34	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	908,760	26,410	14,851	77.8
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	28,160	818	4,562	▲ 82.1
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	70,329	2,044	2,366	▲ 13.6
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	358	10	39	▲ 74.4
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,618,858	▲ 47,046	▲ 44,584	5.5
合計	1,342,656	39,019	37,543	3.9

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、「-」としている(以降の項目について同じ。)

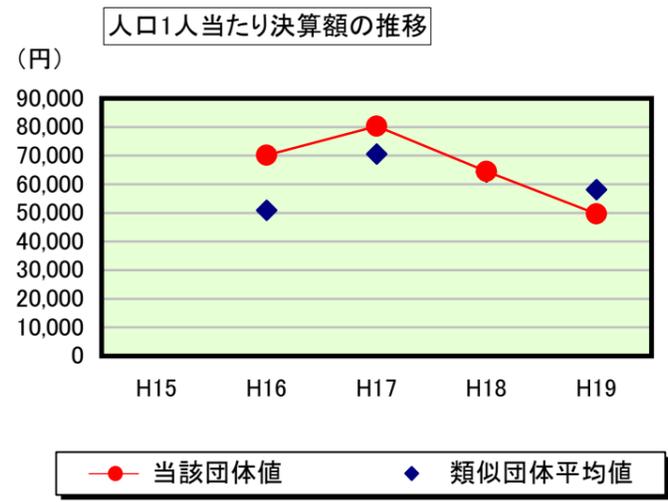
※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

秋田県 男鹿市

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H15	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H16	2,541,262	70,088	-	50,864	-	-
うち単独分	960,324	26,486	-	30,101	-	-
H17	2,872,801	80,306	14.6	70,563	38.7	▲ 24.1
うち単独分	797,308	22,288	▲ 15.8	38,225	27.0	▲ 42.8
H18	2,266,681	64,486	▲ 19.7	64,305	▲ 8.9	▲ 10.8
うち単独分	1,356,929	38,604	73.2	34,136	▲ 10.7	83.9
H19	1,707,834	49,632	▲ 23.0	58,137	▲ 9.6	▲ 13.4
うち単独分	1,103,956	32,082	▲ 16.9	29,406	▲ 13.9	▲ 3.0
過去5年間平均	2,347,145	66,128	▲ 9.4	60,967	6.7	▲ 16.1
うち単独分	1,054,629	29,865	13.5	32,967	0.8	12.7